



# 統計スポット情報

No. 47

13.2.28 福井県総務部情報政策課

## 平成12年平均福井県消費者物価指数

### 前年比0.6%の下落となり、やや弱含みで推移

県では毎月県下7市において小売物価統計調査を行っており、この調査結果に基づいて福井県消費者物価指数を作成し公表しています。

今回は、2月16日に公表された平成12年平均福井県消費者物価指数（確報値）から、物価の動向を見てみましょう。

#### 1 指数の概況

平成12年平均福井県消費者物価指数（確報値）は、生鮮食品が値下がりしたことに加え、家電製品や繊維製品などの工業製品が下落したことなどにより、平成7年を100とした総合指数で100.9となり、前年に比べ(-)0.6%下落しました。平成11年平均の同指数も前年に比べ(-)0.5%下落したため、同指数は2年連続しての下落となりました。2年連続の下落は、現在の形で調査が始まった昭和45年以降、平成7年の(-)0.7%、8年の(-)0.6%下落以来2回目のことです。

#### 2 物価の動向

経済企画庁（現内閣府）では、平成12年8月分の全国消費者物価指数公表まで物価の状況を「安定的に推移している。」としていましたが、9月の指数公表（10月27日）から、技術進歩や流通革命に伴う下落だけでなく、個人消費の低迷など需要面からの物価押し下げ圧力も大きいとして、「消費者物価は、やや弱含んでいる。」との判断をしています。県の指数も全国の指数と同じような動きをしており、福井県の消費者物価もやや弱含みで推移していると思われます。

福井県消費者物価指数の推移

